

日本口腔リハビリテーション学会雑誌投稿規定

1. 資 格 投稿は一般社団法人日本口腔リハビリテーション学会会員に限るものとする（共同発表者も含む）。ただし本学会が依頼した特別な原稿についてはこの限りではない。
2. 内 容 投稿論文は口腔リハビリテーションおよび顎頭蓋機能の基礎および臨床に関するものであり、他誌に発表予定あるいはすでに発表した内容のものは投稿を認めない。研究倫理に関しては、倫理委員会での承認番号を記すこと。個人情報に触れるものは同意書を得ること。
3. 採 否 原稿の採否は査読制度に基づいてこれを行い、掲載順は編集委員会で決定する。
4. 種 類 原稿は総説，原著論文，研究論文，臨床および症例報告とする。
5. 掲載料 1編につき 30,000 円を申し受ける。
6. 別 刷 著者負担とし，必要部数は校正時にこれを明示すること。
7. 校 正 著者校正は初校を原則とし，大幅な文章の変更は認めない。
8. 様 式
 - 1) 漢字まじりひら仮名，口語体，新かなづかい，外国語は原字。
 - 2) 用紙は 400 字詰横書き原稿用紙，ワープロ使用の場合は，A4 判用紙に 20 字×20 行，横書き
 - 3) 記載順序 表紙に（表題，英文表題，著者，英文著者，住所，英文住所）を記載し，次に本文を記載すること。
英文キーワード 3 個以内
英文抄録 300 語以内
 - 4) 数字 算用数字
 - 5) 単位 原則として SI (Le Système International L' Unités 国際単位系) に従う。
 - 6) 図表の挿入箇所 本文欄外に朱書
図表は A4 判以内の大きさにおさめ，黒インクで清書すること。
 - 7) 図表，写真 天地，番号，説明を記入すること。
 - 8) 文献 文献は引用順に並べて一連番号をつけ，本文中の該当個所の右肩にアラビア数字で後片かっこをつけて示すこと。
(例) ……と報告されている^{2,4,6)}。
また，文献記載は Vancouver style とする。共著の場合は筆頭者を含め 6 名まで記して，7 人目以下の共著者は「ほか」または「et al.」と略すこと。雑誌の略号は Index Medicus に従う。
(例) [雑 誌]
日本語 松本文博，桃田幸弘，高野栄之，松香芳三。糖尿病神経障害と診断された舌咽神経痛の一症例。日口腔顔面痛会誌。2016;9:81-85。
英 語 Matsuka Y, Hagiwara Y, Tamaki K, Takeuchi H, Fujisawa M, Ono T, et al. Reliability and validity of the patient disability-oriented diagnostic nomenclature system for prosthetic dentistry. J Prosthodont Res. 2017;61:20-33.

(例) [単行本]

日本語 河村洋二郎. 口腔生理学. 235-249, 京都: 永末書店; 1966.

丹治 順. 大脳運動野の単一ニューロン活動と随意運動の関連. 神経系の統合機構 (塚田裕三 編). 107-134, 東京: 共立出版; 1978.

英語 Stafne EL. Oral roentgenographic diagnosis. 330-379, Philadelphia: WB Saunders Co; 1974.

Öberg T and Carlsson GE. Macroscopic and microscopic anatomy of the temporomandibular joint. In: Zarb GA, Carlsson GE, editors. Temporomandibular joint function and dysfunction. 101-118, Copenhagen: Munksgaard; 1979.

9) オリジナル1部, コピー2部およびテキストファイルに変換したCD-Rを送付すること.
なお, ファイル形式を明記したラベルをCD-Rに貼付すること.

10) 原稿および図表は原則として返却しない.

9. 著作権および原稿送付先

1) 本学会雑誌に掲載された論文および抄録の著作権 (copy right) は本学会に帰属する.

2) 原稿は投稿票、利益相反自己申告書を同封の上、簡易書留で下記へ郵送すること.

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-4-9 駒込 TS ビル 301

一般財団法人口腔保健協会内

一般社団法人日本口腔リハビリテーション学会編集委員会

(TEL 03-3947-8891)